私学の健全な発展に向けた充実方策（案）

～我が国の成長を支える大学の教育研究機能を充実するため、資源の効果的活用による経営改善を促す～

社会の中で私学が果たす意義・役割

背景（我が国の現状）

- 人口減少社会の到来に伴う労働力人口の減少への対応
  →国民各層の就業率を向上
- 東アジア地域での経済活動の進展への対応
  →国際的に有用な人材育成
- 地域経済の地盤沈下への対応
  →地域資源と融合した技術開発

私学の教育研究活動の重要性

- 我が国が経済成長を図っていく上で、大学に対する国民からの期待は大きい
- 我が国の大学の過半は私学が占めており、私学の果たす教育研究活動の成否が我が国の将来を左右

→ 私学の教育研究活動の質的向上が重要

私学が抱える課題

○若年人口の減少に対応した経営改善の強化が急務

→ 質の高い教育研究活動を行うには経営基盤の安定が不可欠

今後の方向性

○私学自身による経営改善と情報公開を一層促進

- 私学は自らの有する資源・機能に着目して目指す方向性を明確化
  →選択と集中の観点から、重点的に展開する分野を選別、経営資源を有効活用
  →「自立・発展」、「連携・共同」、「撤退」へ
- 経営戦略として情報公開を展開
  →地域社会や学生も信頼を確保するため、教育プログラムや卒業後の進路動向、経営状況を明らかにする情報公開を一層促進することが効果的

○我が国の成長を支える大学の教育研究機能を充実するために公財政措置を充実
→高等教育の成果は社会全体が享受するもの （私学の収入に占める補助金の割合はわずか1割）

支援の柱

1 経営指導・相談の充実（早期化、専門性の向上、メニューの拡大等）

- 私学に対して、「自立・発展」、「連携・共同」、「撤退」など将来的な方向性を早期に判断させるよう促す
- リーダーズセミナーの全国展開、専門家の人材バンクを創設、連携・共同の情報の収集提供
- 学生の転学システムの構築などセーフティネットを整備

2 多様な機能に応じたきめ細かなﾌｧﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ・ｼｽﾃﾑを充実（私学助成等）

- 多様な発展を一層促進することができるよう、基盤的経費の助成を充実
- 我が国の政策的課題への各大学の個性・特色ある取組を支援

3 情報公開の促進に向けた環境整備（公開項目の基準作成）

- 教学情報（公開項目を明示する法令改正を準備中）、経営情報（私学団体で公開項目の考え方を整理中）

私学の目指す方向と支援方策

自主的な機能別分化や大学間連携の促進等を通じて、教育研究機能の充実を図り、我が国の活力や成長の基盤形成に貢献

自立・発展

自己の強みを最大限活用（個性化・高度化を推進） ⇒ 自主的な機能別分化に寄与

課題
- 国際的に優秀な人材を引きつける存在感の不足
- 成長を支える教育研究の基盤形成
- 実態に見合った定員（減員）へのインセンティヴが働きにくい

新しい取組
- 成長分野における人材育成プログラムの推進
- 社会人の就業やキャリア・アップにつながる学修プログラムの推進
- 「募集定員」を基礎とした特別補助による私学助成の実施（適切な定員規模へと誘導）

連携・共同

規模のメリットを活用、資源の結集による相互補完 ⇒ 自主的な連携・共同の促進

課題
- 連携に向けた経営者の意識の欠如
- 連携のための枠組みの更なる必要性
- 連携を前提とした経営改善の助成システムが不十分

新しい取組
- 他の学校法人や大学との合併・統合計画を重点的に支援
- 大学間の共同事務局の設置や教育プログラムの共同実施、施設の共同利用の促進
- 複数の大学・短大を通じた専門的知識・技能の学修プログラムの推進
- 連携の枠組みづくりのために、各地域に協議会の設立を促進

撤 退

不採算部門を見極め学生の募集停止を実施 ⇒ 再生困難な部門を整理

課題
- 教育の継続性を最優先とする経営者が早期の撤退に躊躇
- 学生のセーフティネット整備の必要性

新しい取組
- 募集停止を行うための留意事項をガイドライン化 （経営破綻時の留意事項は整理済）
- 転学生の受入校に対する補助金を増額
- 学生の在籍担保、学籍簿の管理の在り方を検討

私学の健全な発展へ